

①[第5章]

A.1 ビジネスモデルの構成要素を調べよ。

ビジネスモデルを「創業に至るまでに、賛同者を集める目的で自分のアイデアを他人に説明するもの」と定義した上で、ビジネスモデルは4つの構成要素から成ると考える。

1. 顧客が抱える課題とそれに対する解決策
2. 価値創造の仕組み

どのように収益を出すかを示す青写真(収益モデル、コスト構造等)

3. 経営資源

2を実現するために必要な経営資源(ヒト、モノ、カネ、情報等)

4. 業務プロセス

2を実現するために必要な具体的な業務の流れ(採用、研修、調達等)

A.2 業務資本提携の具体的事例を調べよ。

2018年9月20日、銀聯国際と株式会社 Origami は業務資本提携をした。銀聯は日本国内でのインバウンドサービスを拡充、Origami は海外渡航者向けのアウトバウンドサービスの実現を目指し、これからお互いにパートナー企業として連携を図る。

B.1 「三方よし」の精神を調べ、現代の経営に通じている点を述べよ。

「三方よし」の精神は売り手の都合だけで商売をするのではなく、顧客満足や社会貢献を考慮した商いの信条である。この日本の伝統的な商業倫理は、現代の経営におけるマーケティングや CSR といった考え方に通ずるところがある。

C.1 いくつかの経営理念を調べ、社外向けの言葉と社内向けの言葉のどちらに比重をおいて書かれているかを比較し、経営理念の持つ意味を述べよ。

「人のため・正しく・仲良く」(株式会社サイゼリヤ)は企業や構成員の行動指針を掲げていることから、社内向けの言葉に比重をおいて書かれており、「世界中の情報を整理し、世界中の人がアクセスできて使えるようにすること」(Google)は顧客の行動に着目していることから社外向けの言葉に比重を置いて書かれている。

また、企業理念は「複数の構成メンバーが長期的にビジネスを継続するための指針」という意味を持つ。創業時の志が込められていたり、抽象的で曖昧な表現が多く、複数の解釈が可能であることからそれが言える。

②[コラムの感想]

・女性起業

財力や社会的地位を持つ人が弱者に対して施しをするノブレス・オブリージュのような考え方がタイにもあると知れたことが興味深かった。

・デートスポット

薄暗い空間に不良っぽいイメージがあるなら逆に、応援上映のようなにぎやかで明るい映画館がウケるかもしれないと思った。

③[授業の感想]

「思考の枠」を知り、そこから気づきを得るデザイン思考の回はとても面白かった。